

## 第2章 | 基本理念と目標

### 1 景観計画の基本理念

関ヶ原町住民憲章の5つの誓いのひとつに、「美しい自然を護り、誇りある歴史と伝統を大切にします」とあります。本計画においては、この住民憲章を尊重し、東西の文化を結ぶ地理的、文化的、歴史的な要所で、風土豊かなまちである“わたしたちのふるさと関ヶ原”として、このまちに生きる幸せを感謝し、先人の気概を今によみがえらせ、活気ある希望にみちたまちづくりをめざして、次の基本理念を定めます。

#### 基本理念

美しい自然と誇りある歴史の中で暮らしていくまち 関ヶ原



## 2 景観計画の目標

関ヶ原町の景観特性や課題、基本理念を踏まえ、次の目標をもって景観まちづくりに取り組みます。

### 1 暮らしを豊かにします

関ヶ原町は、地理的、文化的、歴史的に東西の接点であり、古くから交通の要衝でした。現在は鉄道や高速道路が集まっており、これらを背景として特有の産業が発達しました。また、地理的特徴から山では林業、平地ではため池、マンボ等の農業の景観が広がっています。今までの町並みをまもるとともに、これらの暮らしを豊かにし、関ヶ原町の景観をつくりだしていきます。

### 2 歴史を学び伝えます

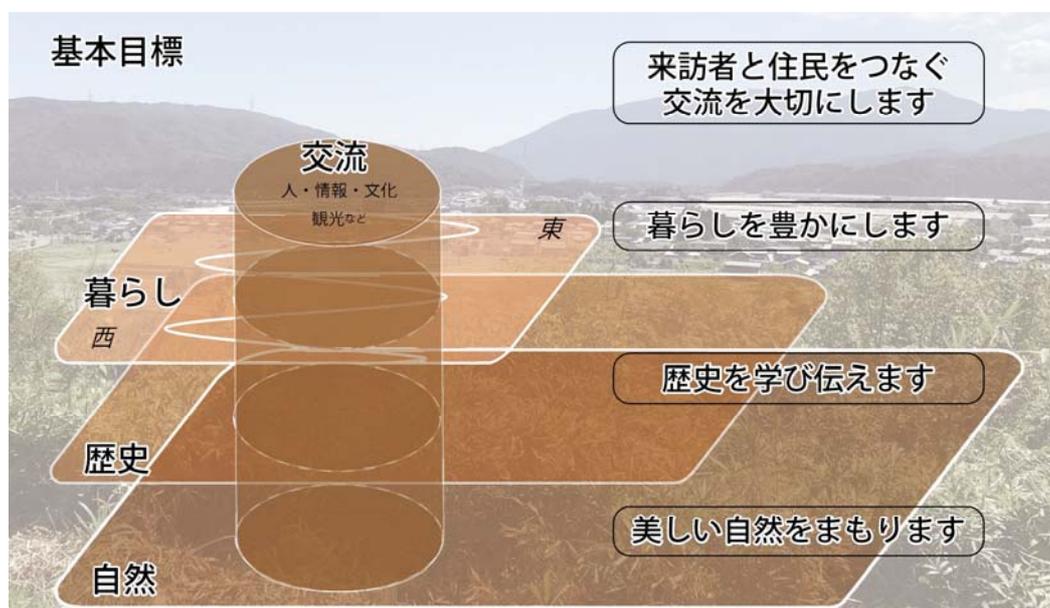
関ヶ原町は、関ヶ原の戦いや壬申の乱の舞台となった地であるため、関ヶ原古戦場をはじめとする多くの史跡が残っています。また、祭り等の伝統や、旧街道沿いには、歴史的な町並みが広がっています。こうした身近にある歴史の中で育った住民全体で歴史を学び、次代に伝え、伝統をまもっていくことで、歴史ある景観の保全・創出につなげていくことをめざします。

### 3 美しい自然をまもります

関ヶ原町は、伊吹山地、養老山地、鈴鹿山脈に囲まれ、藤古川、相川、今須川の河川からの豊かな自然に恵まれており、山に沿った特徴的な集落地が形成されています。山からの眺望や、河川によってできた水の景観をまもっていきます。

### 4 来訪者と住民をつなぐ交流を大切にします

山々の切れ目となる関ヶ原町の自然が作り出した地形は、東西をつなぐ旧街道や戦い等の歴史の舞台をつくり出しました。現在の私たちの暮らしは、この歴史の上に成り立っています。人々は、歴史や自然を求めてこの地を訪れ、私たちの暮らしが作り出す景観を通して、これらを感じるようになります。自然、歴史、暮らしの3つの要素と、来訪者と住民をつなぐ「交流」を通じ、関ヶ原町の魅力を伝え、景観を活かした取組みを積極的に促進します。



### 3 景観形成の基本的な考え方

関ヶ原町の良好な景観は、先人が長い時間をかけて築きあげてきたものであり、私たちもまた、暮らしの中で享受してきた良好な景観を次代に継承していく必要があります。時代によって変化する状況の中で良好な景観を継承していくためには、これまでに築きあげられてきた良好な景観を「まもる」ことに加えて、地域の環境と調和した景観に「そだてる」こと、地域に応じた景観を「つくる」ことを考えていく必要があります。

関ヶ原町では、この「まもる」「そだてる」「つくる」の基本的な考え方のもと、景観形成を推進していきます。

